



令和5年度 管外研修 「宮島・厳島神社」



発行所 枚方・交野地区保護司会
ホームページ
www.hirakata-shakyo.net/hogoshikai/
発行者 清 水 和 明

TOPICS

- ◎ 一面 新春の御挨拶
- ◎ 二面 第73回枚方・交野地区社会を明るくする運動
- ◎ 三面～六面 作文コンテスト優秀作品特集
- ◎ 七面 管外研修・管内研修・合同研修会・BBS会
- ◎ 八面 保護司の荣誉と動静・薬物乱用防止推進委員から



ホームページへの
アクセスはこちらから

枚方・交野地区保護司会

会長 清水 和明



新しい年にむけて
皆様あけましておめでとうございませう。

このところ、コロナ禍や円安、世界では、ロシアの武力による領土問題、イスラエルとパレスチナ問題の再燃等いろいろな不安定かつ不確実性の多い時代に突入したようです。

このような中であって新しい目で見えた保護司制度のあり方も求められつつある状況であることも事実です。

つまり、当保護司会でも全国的な流れと同じく高齢化が進捗し七〇歳以上の人が四割近くになり、今後大量の退任者が見込まれるため保護司の確保問題が大きな課題になっております。

また、国からも打ち出されております、「再犯防止対策」の件があります。就労と住まい探しによる経済的自立の問題であり、担当の保護司さんの日々の御苦労に対して頭の下がる思いで感謝申し上げます。

私も以前、二件ほど相談を受けたことがあり、とりわけの辛酸を受けた経験があります。

関係自治体・諸団体との強力な連携をより一層押し進めていかねばなりません。

さて、昨年の管外研修で「岩国刑務所」「島根あさひ社会復帰促進センター」を見学いたしました。

『島根あさひ社会復帰促進センター』では、これまでの訪問した施設と違って開放性と自主性をメインにしており、大変明るくこれまでイメージから全く違った更生環境の施設であると感じました。また警察犬や馬の飼育などもあり、命を大切に扱う教育が施され、大変興味深く感じました。

この施設は官民協働運営方式であり、刑務行政も大きく変遷しつつあります。

当保護司会も激変する社会と課題に対して時代のニーズに合わせて、先駆けの取り組みにチャレンジして参りたいと存じます。

めまぐるしく変わる社会情勢に合わせて、故を温め、新しきを知る姿勢で、各部の活動に皆様方が一人一人心を込めて知恵と汗を流す一年にしましょう。



大阪保護観察所

所長 古山 正成



新年の御挨拶
新年、明けましておめでとうございませう。

枚方・交野地区の保護司の皆様方におかれましては、お健やかに新年をお迎えになられたこととお喜び申し上げます。また、平素から更生保護に対し、多大なる御尽力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、近年の犯罪情勢を見ますと、刑法犯検挙人員に占める再犯者の比率である「再犯者率」は約五割の高水準で推移しており、保護観察対象者等の再犯・再非行を防止し、社会復帰を支えていくという、保護司の皆様方の活動は、地域社会の安全・安心のために欠かすことのできないものとなっております。

保護観察所といたしましても、皆様方と一緒に、地域の安全・安心のために、精一杯努めてまいりたいと考えておりますので、本年も、引き続き、皆様方のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

第73回「社会を明るくする運動」



「犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会」を目指し、法務省主唱により毎年七月を啓発月間として全国一斉に展開されている「社会を明るくする運動」を七月三日に、枚方市総合文化芸術センターで開催しました。

な民間協力者など、犯罪や非行から立ち直ろうとしている人の「生きづらさ」に寄り添い支え合う方々との連携・取組を広げていきたいと考えています。

式典

関西外国語大学吹奏楽部のオープニング演奏で式典が始まり、枚方、交野両市長をはじめ来賓各位の挨拶、当保護司会からの地元関係五団体へのテント贈呈の後、記念講演が開催されました。



贈呈テント

社会を明るくする運動と講演内容のアンケート(抜粋)

※回答者は六〇代〜八〇代が多い

(一) 社会を明るくする運動をご存じでしたか?

知っていた……………七三%
知らなかった……………二七%

(二) 社会を明るくする運動を何で知りましたか?

広報(ひらかた・かたの)を見て……………二七%
チラシを見て……………一一%
その他(会社・行政・構成団体から他)……………四〇%

(三) 社会を明るくする運動について

地域の関係団体が連携して、更生保護・犯罪防止に取り組むことが重要



(四) 三遊亭楽春氏の講演を聴いて
「想像力」は貴重なことなので、私もコミュニケーション、笑いをどんどん使わせて頂きます。

主な取組

一、枚方・交野の駅において、啓発物品の配布
(一〇月六日)

二、標語パネルの各団体の揭示

三、作文コンテストの実施

四、標語入りクリアファイルを枚方・交野の全中学校三年生に配布

記念講演

笑顔でつながる明るい社会

講師／三遊亭 楽春氏

楽春氏は円楽門下で真打として活躍されています。加えて、心理カウンセラー等三十種類以上の資格をお持ちです。今回はその豊富な知識や経験を活かした講演をして頂きました。

「鍛冶屋」の出囃子で高座へ。★心を解さほぐす★想像力を働かせる★笑顔がつなぐコミュニケーション等「笑

いのチカラ」について、会場に笑いを巻き起こしながら話が進みました。

※《四九八九》
(4×9+8×9=108)

※《八八四九》
(8×8+4×9=108)

戸」と「泣き上戸」

また、太鼓や手ぬぐい・扇子の使い方や、食べるしぐさは参加者体験型で、楽しいお話でした。

誰しも避けられぬ煩惱や「生老病死」であっても、多



くの「笑顔」を「百楽の長」として生きたいものです。

最後は落語家の神髓、大ネタ「青菜」の披露でした。おもてなしを巡って交わす二組の夫婦の人情噺に浸りながら、「笑顔でつながる明るい社会」を願って三本締めで終演となりました。



啓発物品の配布

第73回社会を明るくする運動 作文コンテスト 優秀作品特集

枚方・交野地区保護司会 会長賞

交野市立第二中学校 3年 橋 つぐみ

枚方・交野地区保護司会 優秀賞

枚方市立津田南小学校 5年 小篠 美咲

枚方市立香陽小学校 5年 利光 由衣

枚方市立蹠跏東小学校 6年 山添心優菜

枚方市立東香里中学校 2年 西森 朔空

枚方市立東香里中学校 2年 高志 美晴

大阪府応募総数 …………… 22,269作品

小学生の部 …………… 7,866作品

中学生の部 …………… 14,403作品

枚方市・交野市応募総数 …… 771作品

小学生の部 …………… 558作品

中学生の部 …………… 213作品

本特集記事は赤い羽根共同募金の助成を受けて作成しています。

●枚方・交野地区保護司会会長賞 少しの心がけて変わる社会

交野市立第二中学校 3年 橋 つぐみ

「割れ窓理論」を知っていますか。割れ窓理論とは、一枚の割られたガラスを修理せずにそのままにしていると、誰もが壊れていることに注意を払っていない象徴になり、さらに割られるガラスが増え、やがて街全体が荒廃してしまうという考えです。

この理論は、私たちの身のまわりの多くの場面で活用されています。

例えば、アメリカのニューヨーク市において、一九八〇年代から一九九〇年代にかけて毎年二千年ほどの殺人事件が起

きていたといわれています。しかし、落書きや未成年喫煙、万引きなどの軽犯罪を徹底的に取り締まり、割れ窓理論的に排除していきましました。すると、殺人発生件数は五年間で六七・五%減少したといわれています。

またドイツニerlandでは、日中・夜間問わず、常にパーク内の清掃を行うことで、清掃員の意識づけを行っているそうです。また、来園者においても「こんなにきれいな場所なのだから汚してはいけません」という心理が芽生えるようです。

介護の現場でも割れ窓理論は活用されています。介護の現場において、最初の割れた窓は「言葉」です。介護する側が、利用者に対して使う言葉を間違えれば、それは言葉の暴力であり、いじめです。それは次第に日常化していき、エスカレートしていきます。常に、丁寧な言葉遣いを心がけることで、介護者と利用者の正しい関係を保つことができます。

割れ窓理論は、犯罪予防として提唱されたものですが、小さな乱れを放置、黙認していると、それが常態化して大きな問題へつながる、という考えは日常生活の様々な場面でも見られます。

例えば、公共の場にあるペットボトル専用のごみ箱に、ごみを正しく分別せずアルミ缶を捨てるといふ、ごく一部の人間の些細なルール違反が放置されていると、抵抗感が薄れて、次々に同じようなルールを守らない人が出てきます。挙句の果てに、そのごみ箱はごみがあふれて

いるというような状況を、誰も一度は見ることがあるのではないのでしょうか。窓ガラスは割れることもあります。うっかりごみの分別を間違えることも、美しくない言葉を使ってしまうこともあります。誰がそれをしたのか特定することも大事なことですが、負の連鎖を断ち切り、モラルを低下させないことも重要なことだと思います。小さくてもルール違反をしない、相手の立場になって物事を考え、言葉遣いに気を配るコミュニケーションを積み重ねるようなことを、誰もが心がけることで、私たちの日常生活はより良くなると思います。

「服装の乱れは心の乱れ」という言葉があります。まずは、自分の身だしなみや立ち振る舞い、身のまわりの整理整頓から始めることで、より良い社会作りの一端を担いたいと思います。

●枚方・交野地区保護司会 優秀賞 社会を明るくする運動

枚方市立津田南小学校 5年 小篠 美咲

わたしが思う社会を明るくすることは、子どもとお年よりの方との交流が大切なのではないかと思えます。わたしは今、おじいちゃんおばあちゃんもいっしょに住んでいて、6人家族ですが最近では、家族が多く、お年よりの方との関わりが少なく感じます。

また、老人ホームが増え、お年よりの方がたくさんいると思うので、学校から何度かお仕事体験もしながらいっしょに楽

しく、遊ぶということもすてきだし、いろいろな発見もあると思うので、そういった授業は、いいのではないかと思いました。子どもやお父さんお母さんでもわからない昔の話など聞くこともできるし、わたしも今「こんなことがはやっていいよ」など教えてあげることが出来ます。

また、いっしょに体を動かしたりすることで、気持ちも上がって元気に長生きしてくれれば、うれしいです。そういった

体験を子どものころからすると、将来か
いごの仕事になりたいという人もたくさ
ん増えるのではないかと思います。また、
老人ホームだけでなく、近所の方との交
流も大事だと思います。何かあったとき
に、知り合いの方だと相談しやすいし、安
心します。また、お母さんが昔はラジオ体
そうや、盆おどり大会があつて、その練習
をお年よりの方としていたよと聞いて、
すごく楽しそうだなあと思いました。そ
れも今はなくなり、いろいろとかわつて
きて、交流も少なくなつてきていると思
いました。なので、もっと地域の人と遊べ
る時間が必要だと思います。一月は、おも
ちつき大会。二月は、豆まき。三月は、おひ
な祭り。四月は、お花見。五月は、こいのぼ
り。六月は、雨なのでトランプ大会。七月
は、七夕祭り。八月は、すいかわり。九月は、
お月見で、おだんごを食べる。十月は、み
んなでハロウィンパーティー。十一月は、
おいもほり。十二月は、クリスマスパー
ティー。こういったたくさんイベント
があると、いろんな人と仲よくなれる気
がして、楽しみが増えます。一人でさみし
くしている子どもさつてあげるといたず
らする子どもやさしくなると思います。わ
たしたちの未来は、機械が増えてきて、何
でも自動になつていくと思ひます。その
中で、便利になつていくけど失われてい
くものもたくさんありそうで心配です。
だれかのために、何かをしてあげよう
という気持ちだったり。思いやりみたいな
ものは、失つてはいけないと思ひました。
わたしたちが大人になるころは、お年よ
りがたくさん増えて子どもが少なくなる
ということをお母さんから聞いたので、

人と人との関わりと、助け合いが大切になつていくと思ひます。わたしの将来のゆめは、かんご師になることです。なので、一人でも多くの人が明るく元気になるように、たくさん勉強してみんなの力にな

家で家族と一緒にテレビを見ていたら、ニュースとかで悲しくなるようないろい
ろなほんざいや事件とか、ウクライナと
ロシアの戦争とか北北ようせんのミサイ
ル発しゃとか、何でそんなことをするん
だろうととてもぎもんと思ひます。
特に、ぎやくたいとか、親子で一緒にな
くなつてしまふとかの事件を見た時は、
だれかに相談できなかつたのかな。助け
てくれる人はいなかつたのかな。だれか
に相談して助けてもらつてほしかつたな
と思つてなみだが出ます。
私は、このような事件やはんざいなど
は、だれかに相談したりたよることがで
きれば、少しは減るのではないかと思ひ
ました。
お母さんになやみがある人が相談する
には、どうすればいいのか質問したら、相
談するところは市役所や学校や病院など
に、先生やワーカーさんやカウンセラー
さんがいて相談のつてくれたり、支援
してくれるところがあると教えてくれま
した。
でも、なやんでいる人はその事を知ら
ないかもしれないと思ひました。なやん
でいる時には相談できるところがあるこ

●枚方交野地区保護司会 優秀賞
困った時はおたがいさま

枚方市立香陽小学校五年 利光 由衣

りたいです。子どもから、お年よりまでみんなが明るくえがおになれることが、社会を明るくする運動になると思ひます。今のわたしたちが、明るい未来にかえていかなければいけないです。

とを教えてくれる人とか、なやんでいることに気付いてくれる人とか、話を聞いてくれる人が近くにいるのがとてもいいのかなと思ひます。
私には家族が近くにいるでいてくれますが、私のことをとても気にかけてくれている近所のおばちゃんがあります。そのおばちゃんは、私のお姉ちゃんが産まれた時に、私のお母さんに、「何か困つたことない?」「何か手伝おうか?」「大丈夫?」といつも気にして声をかけてくれていたそうです。私がようちえんや学校に行く時は、犬の散歩をしながら、毎日一緒についてきてくれます。「学校は楽しい?」とか「体調に気をつけてね。」とか「水分ほきゅうしつかりしてる?」とか聞いてくれたり、私も「今日、運動会の練習があるんだよ。」とか登校班でのなやみとかを話して聞いてもらつています。とても話し

●枚方交野地区保護司会 優秀賞
あいさつはまほうの言葉

枚方市立陸院東小学校六年 山添 心優菜

私に通う学校では、毎朝子ども達が安全に、安心して学校に行けるように、ポラ

やすいので安心します。
私には家族が近くにいるけど、家族以外のおばちゃんにも、こまつたことがあれば、すぐに相談できると思ひます。反対に、おばちゃんももし元気がなかつたしたら、すぐに気づいて「大丈夫ですか?」と声をかけたいです。
みなさんの周りにもそんな人はいいますか?近所の人と、つながりをつくるには、どうすればいいか考えてみました。
まず、あたりまえだけど、しっかりとあいさつをする。あいさつは相手の目を見て笑顔で大きい声です。
そして、地域のみぞそうじなどの近所の行事などには積極的に参加するなどのことを考えました。
がんばつてやろうと思ひます。
家族や近所の人などに、困つた時に相談できたり、たよれる人がいれば安心していいと思ひます。
なやんでいる時に相談できない人が、少しでも減るような社会になつたらいいなと思ひます。
そのために私は困っている人を見つけたら勇気を出して、「何か困っていることありますか?」と近所のやさしいおばちゃんみたいに声をかけられる人になつて人の役に立ちたいです。



見守り隊の人達は、雨がたくさんふっている時も、とてもあつい時も、風が強い時も、いつもの場所で立ってしてくれます。

そして、子ども達に『おはよう』と言ってくれます。

そんな優しい見守り隊の人に、四年生までの私は、『おはよう』と言います！と返すことが、はずかしくすることができませんでした。

あいさつをした方がいいとは思っていたけれど、いざとなるとうまくしゃべれなくなってしまうのでした。

そして、ペこりとするだけになってしまいました。だけど、四年生の二・三学期ごろになって、友達と学校から帰っていたら、その日は帰り道に見守り隊の人がいました。私はいつものようにペこりとしたけど、いっしょに帰っていた友達に、『さようなら！いつもありがとう』と言います！と元氣よくあいさつをして、かんしゃの気持ちまで伝えていました。それを見て、私はあいさつって、すごいなあ。まわりの人もいい気持ちになっ、いいなあ。と思いました。

だから、ちよつとずつでもいいからやってみよう！という気持ちになりました。

次の日からは、小さな声だけど、『おはよう』と言いうことができました。相手には声がとどいていなかったかもしれないけど、まずは、自分があいさつをすることができたというだけで、とてもうれしくなりました。それと同時にあいさつができなくて、少しモヤモヤしていた気持ちも、スッキリとした気持ちになりました。

変わりました。

それからは、毎日あいさつをできるようになりました。それでも相手に聞こえなかったので、もっと大きな声にしないか！と思っていました。

そして五年生になりました。

まだ声は小さいままだったけど、私は登校班の班長になったし、高学年でもあから、新しく入ってきた一年生や、低学年のお手本にならないか！と思ひ、勇気を出して、『おはよう』と言います！と言いうことができました。最初はみんなうらやまそうして、どうしようと思っただけれど、言っ



●枚方・交野地区保護司会 優秀賞

「冷奴」を食べるのは難しい

枚方市立東香里中学校二年

西森

朔空



みると、とてもいい気持ちになったし、次は笑顔でしてみると、もっといい気持ちになったのでよかったです。それからは、毎日『おはよう』と言います！と言えようになりました。

今では、それがあたり前のようになっていいます。そのおかげで、見守り隊の人のいまでもあいさつをしつかりとすることが出来ます。そのたびに、私も相手も笑い顔になるのでうれしいです。

このようなことから、私は、あいさつはまほうの言葉で、とてもいいことなんだなと気づきました。

「いじめ」。これについてみなさんは考えたことがあるだろうか。集団の中で仲間はずれにされたり、無視されたり。されている方はもちろん嫌な思いをするだろう。普通ならそんなこともせず、平和であればいいはずなのに、いじめは起こってしまうのだ。日本でいじめは昔からあるようだが、なぜそんなことが起きるのか？なぜなくならないのか？今回はこのようにいじめに関するさまざまな「なぜ」について、(あくまで個人的なものだが)色々考えていきたいと思う。

僕自身、今中学二年生の学生だが、「いじめ」のような目にあつたかもしれないな、と思うような出来事が実際にあった気がする。思い返せるほど昔の話で、今は痛くもかゆくもないのだが、当時は結構しんどかつたと記憶している。しかし、そ

てしまうというケースが年々増加傾向にあるのも現実である。これだけは本心に避けたい。自分の言動が、発言が、人を時に死に追いつめることがある、ということとをである。

なぜなのか。なぜいじめがこんなにも起こってしまうのか。色々原因はあるだろうが、一番に「日本人の性格」があると僕は考えた。日本人は、「同調性」が他の国より強いらしい。もちろん同調性自体が悪いわけではない。仕事などをうまくやっていくのには同調性が良いはたらきをしたりする。しかし、いじめが起きるときに「同調性」は悪いはたらきをしてしまうのだ。何かを真似る、ということに似ているのかも。A君がいる。B君がA君にちよつつかいをかける。ここまでは普通なのだが、ここからC君が、「真似る」のである。「A君にちよつつかいをかけても大丈夫なのかな」と思うのだ。なぜならA君は笑っているからだ。じゃれているだけで三人とも楽しい空間にいるように見えるのだ。このじゃれあいが盛りあがってきたときに初めて、A君はいじめられているのだ、と認識する訳だが、ここでも「同調性」がはたらき、この楽しい雰囲気をごわしたくない、と一人で抱えこんでしまうのだ。

ここで僕は思った。「いじめ」は、「冷奴」ではないか？と。そう。あの料理のひややっことである。おいしいなとか、そういうのではなくて、食べるのが難しい、と言いたいのだ。おはしでいただくが、少しでも力が入ると割れてしまつて食べられない。これが、「いじめ」と似ている気がする。しかし、冷奴といじめで一つだけ違うこと

がある。「ミスが許されない」ことだ。冷奴は別に一回ぐらい豆腐をくずしてしまってもいいのだが、いじめはそうにはいかない。先でも述べたが、その一回が、最悪の事態になりかねないのである。

だから僕たちは、もう一度冷奴を食べるときのはしづかいを見直さなければならぬ。力みすぎているか？友達にちよっかいをかけすぎていないか？みなさんにも考えてみてほしい。そして心当たりがあるのなら、少し行動を変えてみるといいかもしれない。



●枚方・交野地区保護司会 優秀賞

最近、いじめなどが新聞やテレビにたくさん出てくるようになりました。いじめで自殺とかあって、大きいニュースにもなったりして、毎日こういうのを見ていると胸が苦しくなります。最近、最も多いいじめは、パソコンやスマホを使ったインターネットによるいじめがあります。顔や名前がわからないぶん軽い気持ちでいじめの原因につながることもあります。まず、インターネットの書き込みなどがあります。インターネットで書き込まれた言葉はたくさん人の目にとまります。一度投稿すると、完全に消すことは不可能です。なので、いじめをなくすために私が考えたことは、三つあります。

一つ目は、相手の気持ちを考えることです。自分では、悪気は全くない言葉でも、相手にとっては、とてもひどいと聞こえてしまう言葉もあります。そのせいで、深

色々、言ってきたがやはり、「いじめ」が今日本規模で問題になっているということは、難しいのである。「冷奴」を食べるのは難しいのである。そして、過去は巻き戻せないのだ。未来だけは、この先コントロールできるし、良くも悪くもできてしまうのだ。これを読んだ人が、少しでもいい方にコントロールして、少しでもいい方が減っていったらいいな、と思う。そしてみんなが、楽しく「ごちそうさまでした！」と言える日が来ると、僕は信じている。

枚方市立東香里中学校二年 高志 美晴



く傷ついてしまうこともあります。だから、自分の気持ちだけではなく、相手の気持ちも考えることが大切です。

二つ目は、加害者のかかえる問題を解決することです。いじめの加害者は、心や家族に問題をかかえています。家族では、「ざやく待家族」、「放任家族」などがあるそうです。また、「自分に自信がない」、「自分が好きになれず」、コンプレックスをかかえている」などがあるそうです。そのため、加害者のかかえる問題を、解決することが大切です。

三つ目は、いじめは絶対にしてはいけないという、意識をもつことです。いじめは犯罪なので、自分の悪口を言う人がいたとしてもその人を、いじめていいということにはなりません。被害者が加害者にいじめを仕返しても、それは絶対にしてはいけないことです。

枚方・交野地区保護司会「佳作」作品の紹介

●小学生の部

- | | | |
|---|---|--|
| 枚方市立長尾小学校
6年
藪 優里奈
「小さな命と心」 | 枚方市立殿山第二小学校
5年
中路 蒼
「ゴミ拾い」 | 交野市立岩船小学校
5年
田中 理央
「友達が不幸になる前に」 |
| 枚方市立津田南小学校
5年
森西 一花
「社会を明るくする運動」 | 枚方市立桜丘北小学校
6年
井上 果歩
「社会を明るく」 | 枚方市立蹠跏東小学校
6年
柴田 彩羽
「未来への一歩」 |
| 枚方市立開成小学校
5年
端野 真希
「悩みの種が生まれてしまわないように」 | 枚方市立西牧野小学校
3年
市金 響
「はんざいを少しでもなくす方ほう」 | 枚方市立東香里小学校
4年
南 沙奈
「輝く心」 |
| 枚方市立香里小学校
6年
前川 末道
「スマホのいじめ問題」 | 枚方市立香陽小学校
5年
鍋島 花菜
「いじめのない社会を目指して」 | 交野市立交野みらい小学校 5年
田中 心葉
「いじめがない世界」 |

●中学生の部

- | | | |
|--------------------------------------|---|------------------------------------|
| 枚方市立中宮中学校
2年
馬渡 惇
「SNSの危険性」 | 枚方市立東香里中学校
2年
竹谷 柚葵
「いじめをされた人への思い」 | 交野市立第二中学校
3年
半端 千遥
「(無題)」 |
|--------------------------------------|---|------------------------------------|

そして、今もいじめは増え続けています。自分が、被害者や加害者にならないためにも相手の気持ちを考え、意識をもっていくことが大切です。

まずは、自分にできるようなことから始めて、家族や友達などの周りの人に対して思いやりを持ち、大切にしていこうと思います。犯罪をしてしまうのはよくないことです。犯罪を減らしていくには、人に寄りそい、心のケアをすることが必要だと思えます。この考えを忘れることなく、これからは生きていきたいです。

社会を明るくするためには、このよう

な行動を個人から地域へ、地域から世界へと広げていくことが重要になっていきます。だからまずは、私が行動をして意識を他の人に伝えていきたいです。この世の中の、一人一人が「いじめ」や犯罪について考え、一人一人をしつかりと支え合おうんだという意識をもつてほしいと私は思いました。なので、私はこれから「いじめ」を絶対にしてはいけないこと、許さないことを大切にしていきたいと思えました。世界中のすべての人々が思いやりの気持ちを持ってほしいと私は願っています。そうすれば、社会は明るくなると、私は思います。

保護司会の活動報告

管外研修

四年ぶりの管外研修を九月二八日に実施できました(参加者三三名)。二班に分かれて、島根あさひ社会復帰促進センターと岩国刑務所を訪問し、施設の理念や運営方法、受刑者の生活状況について学ぶことができました。

社会復帰促進センターは、施設運営の一部を民間に委託している。官民協働刑務所(定員二千名)です。

受刑者の圧迫感を軽減するため外壁はコンクリートではなくフェンス(二重)となっており、また各人のICタグ装



着による位置情報とテレビカメラにより、職員同行なしでの独歩方式が導入されているなど、新しい試みが注目されます。

二七日は広島の平和記念資料館を見学し、原爆の悲惨さについて深く再認識しました。(船戸和夫)

管内研修

一月一六日(木)管内研修及び受賞者表彰状伝達式が行われました。

管内研修(参加五三名)は、京都市中京区の更生保護法人 盟親(男性入所施設)を訪問し、施設長より運営に関する理念等を聞き、施設内を見学しました。「お帰りなさい」「行つてらっしゃい」と温かな言葉をかけ、温かな食事を作ることで、入所者が人の優しさを知る場であること。退所後も相談に応じたり、イベントに招待したりして、支援を途切れさせないこと。これらが再犯率を下げるのに重要であること等を語ってくださいました。

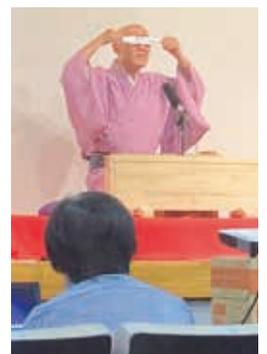
午後は、KIYOMIZU 京都東山にて、三二名の方々の受賞者表彰状伝達式(参加五五名)を行いました。藍綬褒章をはじめとした表彰状が清水会長より手渡されました。(北口ひとみ)



合同研修会

組織部では、更生保護女性会やBBS会、協力雇用主会などの更生保護に関係する他団体と協力して、年一回、合同研修会を開催し、会員相互の見識を高めています。

今年八月一七日、交野市保健福祉総合センター(ゆうゆうセンター)において、全盲の落語家、桂福点さんに、「出会い は心の光」の演題で語っていただきました。



同氏は、中学生の頃に視力を失われましたが、桂福団治に弟子入りされ、独自の音楽や音楽、映像を交えた創作落語を用いて、障がい者の理解を深めてもらう講演に取り組んでおられます。当日は、笑いと涙あふれるお話に、学ぶところがたくさんありました。(組織部 島田)

BBS会

去る一〇月二九日(日)、爽やかな秋晴れの下、府立山田池公園南エリアパーベキュー広場に於いて、BBS会主催のBBQ大会が開催されました。今回は対象者二名とその妹一名、関係団体を含め一二名が参加しました。終始、笑顔を絶やさない対象者に安堵し、参加団体の共通理念である更生保護の役割の必要性を実感すると共に、団体相互の連携と親睦を深める事ができた、意義のある一日でした。(組織部 三木)



●パーベキュー大会に参加して

私は保護司さんにパーベキュー大会に誘われて行ってきました。

パーベキュー大会当日は天気も良く風が気持ちよかったです。最初私は知らない人ばかりで馴染められるか不安でした。けど皆さんが話しかけてくれて、全然気まずくもなく楽しい時間を過ごせました。

初めて自分で火をつける体験ができて新鮮でした。お肉など野菜も沢山並び、お腹いっぱいになるほど食べられて美味しかったです。

ピング大会もあり皆さんと一緒に楽しく出来ました。もし、次回パーベキュー大会があればぜひ誘って欲しいと思います。(参加者)

保護司の栄誉

◎藍綬褒章

中川 るみ

◎全国保護司連盟

理事長表彰 宮内深智子
吉見喜代美

◎近畿地方更生保護委員会

委員長表彰

惠阪 順三
伊地知武志
伊藤 寛
渡辺 道男
山根 裕治
田尻 文雄
三島 孝之
池田 幸子
加藤 尚勤
島田 尚弥

◎近畿地方保護司連盟

会長表彰

橘 隆
森 均
柿木 隆
藤田 卓伸
石橋多代子
北川 大祐

◎大阪保護観察所

所長表彰

荒賀 正子
谷本真紀子
西田 政充
林 宏毅
山根 孝子
足立 理明
水嶋 忠雄

◎大阪保護観察所

所長表彰

並木美代子

◎大阪府保護司会連合会

会長表彰

早川 孝
小川 眞乗
小川 光
辻 美希

◎大阪府保護司会連合会

会長感謝状

【家族】 新島 健士

保護司の動静

◎転任保護司

◇令和五年八月一日付
国本 章子

◎退任保護司

◇令和五年七月三十一日付
木上 章

◇令和五年九月二十四日付
岩本 昌治
(名誉会員)

退任のあいさつ



岩本 昌治

平成一七年九月二五日、先輩より『お前しかおらん』、その言葉を信じて保

護司というお役をひき受けてよかった!!
更生保護というより対象者の話を聞きながら同時に、私自身に問いかけていたのです。

うそをつくな、悪い事をするな、ひきような事をするなよ・・・と。

私の人生にとって保護司というお役を引き受けている事は、私のプライドでもありません。

永い間、保護司岩本を支えてくれた家族に感謝し、同時に保護司会の皆様にお礼を申し上げます。

転入のあいさつ



国本 章子

この度、八月に京都の左京区保護区より転入させていただきます。

更生保護の活動に携わる方々への尊敬の思いと共に、いろいろと学びながら自身も少しでもお役に立てますよう、頑張つてまいりたいと思います。

お世話になります。どうぞよろしくお願いたします。

薬物講演会

薬物乱用防止推進委員 木田 ミツ

十月二八日京都ダルク二〇周年記念フォーラム「回復への道のり」が開催され薬物依存者や家族の話を直に聞く機会を得ました。

栄養剤を飲んでいたが勧められ試してみた。薬物を使用している内に売人のア

ルバイトをするようになった。繰り返し服役する事で孤立していった。世間体を気にし息子と向き合つてこなかったと反省する母、長生きし見守りたいと言葉少なく話す父親、薬物依存症の怖さを目の当たりにした一日でした。

薬物犯罪が減少する事なく推移している今、子ども達に正しく伝えていく活動の大切さを感じています。



編集後記

去る七月三日に行われました第七三回枚方・交野地区「社会を明るくする運動」式典にて三遊亭楽春氏の講演が行われ、笑いが如何に人の心を豊かにするかを学びました。本年度も枚方・交野地区小・中学校よりたくさんの方の応募を頂き、保護司のみならず地域の人と人の関わりの中で、明るい社会を築きあげていくことが大切だと実感しました。

悼



- ※伊東 俊 四二二
- ※柿木 敏男 五四四
- ※目加田喜子 五五二
- ※北川富久子 五六二五
- ※豊倉 孝宏 五八三〇

(※印 名誉会員)
謹んでご冥福をお祈りします